

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号  
実用新案登録第3142544号  
(U3142544)

(45) 発行日 平成20年6月19日(2008.6.19)

(24) 登録日 平成20年5月28日(2008.5.28)

(51) Int.Cl. F 1  
A 4 7 G 33/00 (2006.01) A 4 7 G 33/00 D

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 実願2008-2164 (U2008-2164)  
(22) 出願日 平成20年3月10日(2008.3.10)(73) 実用新案権者 506057247  
衣川 重和  
京都府福知山市西長23番地の3  
(72) 考案者 衣川 重和  
京都府福知山市西長23番地の3

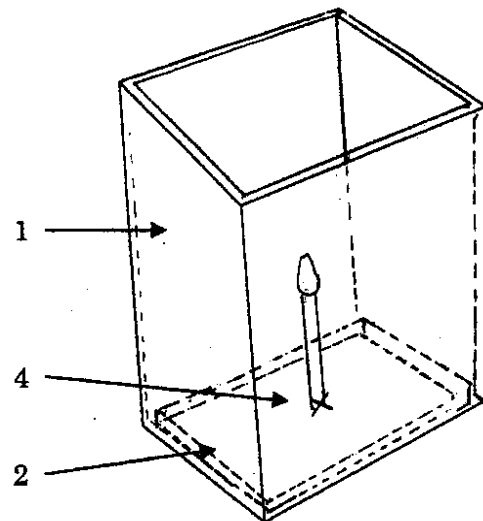
(54) 【考案の名称】 灯籠

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】環境にやさしく、折り紙方式の為コンパクトで移動が容易であり、従って組立ても簡単で本来の灯籠を提供する。

【解決手段】全て環境破壊を考慮に入れた材質を使用し、立方体折袋図1を設け、紙袋の中底に別添付のダンボール紙に蝋燭立て穴4を設け蝋燭が焼尽した後、吸着蝋燭液4から紙袋の水面に接する底面を残し全焼さす事を特徴とする。

【選択図】 図1



## 【実用新案登録請求の範囲】

## 【請求項 1】

上面開口の立方体の紙袋内底面にダンボール紙を設け、このダンボール紙の中央に蠟燭立て用の切り込み穴を開け、前記ダンボール紙は蠟燭の液状蠟材を吸着できる材質とし、蠟燭が燃え尽きた時の炎によってダンボール紙に吸着させた蠟材が燃えて紙袋が燃えるようにした事の特徴とする灯籠。

## 【考案の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本考案は、お盆の行事の一環として先祖の霊が冥土にお帰りになる日に送り火を焚く、又は海や川に灯籠を流し送り火として行われるものである。

10

## 【背景技術】

## 【0002】

従来灯籠は枠組と蠟燭立ての素材が木材と釘で作られており、今日では環境破壊につながり回収せねばならなくなっている。

## 【考案の開示】

## 【考案が解決しようとする課題】

## 【0003】

従来灯籠では環境破壊の為、終了後全て回収の必要があり回収モレも発生し時間と労力が掛かっている、本考案はこの様な欠点を解決しようとするものである。

20

## 【課題を解決するための手段】

## 【0004】

本考案は、環境破壊に考慮した紙質からなる紙袋であり上面を開口している、この紙袋内底面に収納した別添付のダンボール紙を蠟燭立に形成したことにより問題点を解決している。

## 【考案の効果】

## 【0005】

上述の様に本考案の灯籠は、上面開口の立方体の紙袋内底面に収納したダンボール紙に切り込み穴を開け挿し込んだ蠟燭が燃え尽きた時の炎によって、ダンボールに吸着された蠟材に点火し、紙袋が燃え尽きる事によって、環境破壊の一助となる。

30

## 【考案を実施する為の最良の形態】

## 【0006】

本考案の灯籠は環境破壊を考慮に入れた材質の紙を縦135mm横135mm高さ190mmに形成した立方体紙袋図1の内袋の底面にダンボール紙縦135mm横130mmを設け、このダンボール紙の中央に蠟燭立て用の切り込み穴を開け、更に切り込み穴4から側面5に液状蠟材を吸着させた図3を装着する、尚、実施に至っては、燃え尽きる時間帯に合ったサイズの蠟燭を使用し、ダンボール中央の切り込み穴に差込み図2の形態で行う。

## 【図面の簡単な説明】

## 【0007】

40

【図1】 本考案の灯籠の斜視図である

【図2】 同じく灯籠の内底に設けたダンボールに蠟燭を立てた状態の断面図である。

【図3】 ダンボール紙に穴を設けた斜視図である

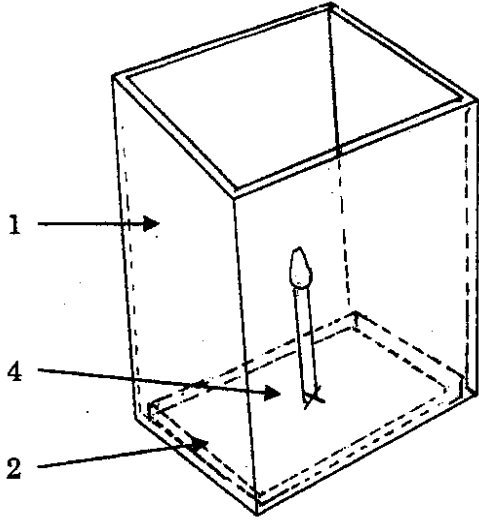
## 【符号の説明】

## 【0008】

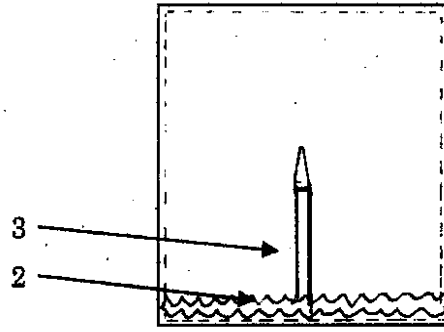
- 1、袋紙
- 2、ダンボール紙
- 3、蠟燭
- 4、穴
- 5、蠟燭液を流す位置

50

【 図 1 】



【 図 2 】



【 図 3 】

